大連へは初めて

各位の御指導をお願ひす

幸島民政署長着任!

報

山東は奉派の勢力下に

日九十月九

で発きない。 で発きない。 で発生ないで、 でで、これに聴いの大性をでいるのは、 でいるのは、 でいるのは、 でいるのは、 でいるのは、 でいるのは、 でいるのは、 でいるのが、 でいるのが、

らである、

のは、 が知らず無いので、 が知らず、 にはの対数が、 を知られて、 を一、 とので、 をかし、 をいき、 をいき、 をいき、 をいき、 をいき、 をいき、 をいき、 をいき、 をいました。 といました。 といまた。 といまた。

が政院の仮定を促す一般因され

走

九づ第一目的地の を撤退 支那時局に愈よ急轉 唐山へ進發

職はが五ヶ月代表からつれのは 職が大人職がせなしたものださい へぬこさくない、だら事は画家 ののといて入感に関する重大戦略である をいて入感に関する重大戦略である をいて入意に認まるべきであっ をいて後の如く見解剔拠し で表の多歌はが縫い、一般層長の がは、原に驚る であって後の如く見解剔拠し であったい。だら事は画家 であって後の如く見解剔拠し である。 であったい。 がは、一般層長の がは、一般層長の がは、一般層長の がは、一般層長の がは、一般層長の

解の既録は、條約家でふる

ると思いに連ないほどが

起きさいする常面の政策 をもさいする常面の政策

方政府は潰滅 た理哉に下野な海明するに至った の繋続により螺形戦が使ます たの繋続により螺形戦が使まるす

全國統一は近し

ものである

蔣氏各軍に激勵電報

カ範囲とする意向である。 地氏を第三型機能会に協能するに 地氏を第三型機能会に協能するに は 様よ 間に事態上製館の外なから人さ見 には北非政府は成立後側に中日

閻氏下野の原因 周圍の事情總で不利 奉天軍の

かくる大連側頭を一瞬のもさにあかくる大連側がであったさ硬調を上は纏めて熱かであったさ硬調があったさ硬調があったさを開かた。

るもんか」さ手を振って強く 消してるた「寒災は吉川氏」

【南京十八日餐電道】國民政府の一 南軍臨領占領

感よけふを最後に

決死の白熱戦展開

市議逐鹿戦の形勢

日教表されたが命令 **敷後一二、一○、四平街着後三五、是春看前一一、○五、是春** 

七四九

氏は十九日入港のうちる鬼にて邸に長に別日戦団とした前監修改和田駿田といて金精郷路峡社

歌がスには三宮を避ければなる。 にかく北風きそはす。 一般 一般 できょうは行かねが、さ

新学さらば京楽はガラあき。そ 歌学さらば京楽はガラあき。そ

育べ、三〇 術七,00

海軍新計畫大綱

十八日第一回打合會

總額四億三千萬圓

を で 子思忠軍の遺出か、だが を かの時間、ごう鬼種するか、 液 大村 区日

湿元 に未定 旅館、船渠兩社

入事整理はやら

るかも知れの

で理事語る

・ 財闘すべきものであるから となかね、假りに選元せるむい これる時に急ぐ必要はない に関元するとすれば常然鏡道 があるから

本で)に聞きますから御散歩かたん〜御出掛まで)に聞きますから御散歩かたん〜御出掛まで)に聞きますから御散歩かたん〜御出掛まで)に聞きますから御散歩かたん〜御出掛まで)に聞きますから御散歩かたん〜御出掛 来る廿一日第一回競響手持品を賣度方は!!



口非常に御好評頂戴。午後も饕餮 世界各國酒 東京風菓子謹製 類 食 料口 X 光 泉 00

宅獨特の 日本各地名産 宗像建築事努所 電話三四九五番

交流ラジオ受信機 東京中央放送局懸賞一等當選品 電燈線から自由に使へる 新コンドル G音楽用 内地の放送が明瞭に聴こえます 型錄進呈

あるを否み得ない、配してそれ き、現は偶然にも展別院一致監 き、現は偶然にも展別院一致監 今夜の演説會

山西軍撤退を

本五日(見)湯崗子前八、五九、遠 本五日(見)湯崗子看後三、二五 一二、湯崗子看後三、二五 八四三、湯崗子看後三、二五 八四三、湯崗子看後三、二五 八四三、湯崗子看後三、二五 大石橋著前九、○○、大石橋要 等口發後三、二五、大石橋要 等口發後三、二五、大石橋要 三、五八、大石橋要後四、二三 大連着後八、三○

高田次官重態

軍備狀態視察に

吉川陸軍參與官來連

宣傳に大童 高橋滿電常務談

ラジオで笑へ ラジオで摩べ

高橋満電旅務は十九日入窓のうちたわけてねら、大変を住むたが左の短く踏る大でを住むたが左の短く踏る大いたけられてはら、別に申上げるやけたわけでさへも宣傳や廣告に大変ので黒力をかけてぬます、一流ので馬力をかけてねます、一流を対けるという人と目先の疑った差しい。 『東京十九日養電通』 松月三日以 一覧中の高田 農林政務水電は一時に 高点を登した。原三日曾より文徽 高点を登した。原三日曾より文徽 高点を登した。 高点を登した。 高点を登した。 高点を登りた。 高点を登りた。 高点を登りた。 一時に入

仙石總裁の日程

廿三日發沿線視察

二氏(補料理事長) 同上 主氏(輸料理事長) 同上 会育爾氏(四洲線路局運動 一八日夜來連 比《元正金保行大選支 氏(新編集書類長)

金幅鐵道の使命

唇利のみが目的ではない

和田新任副社長來連

横造一計算一無定 建築一設計一監督

大觀小觀

大連市連鎖商店街広山

日本の

満洲は初めてジャ、取の前任地 満洲は初めてジャ、取の前任地 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 は信州松本でしたが長野縣は全 といかこの噂もありました

るか否かは、全く各位の御方寸に在ります、茲に護んで最後の選舉を勵行しつゝあります、従つて理想選擧を失敗に終らしめ殺異狀ありと報告されてゐます、それでも尚ほ多年標榜の理想私は立候補以來質は非常の苦鬪を續けてゐます、そして時に 戦 併せて一段の御援助を御順ひ致します。

されてゐる

課長着任

**禎平吉俊雄**耶耶志

**炭補者 五十崎正大君**ラ大連市會議員

龜立深五米田田愛

(可即物使黑種三第)

べる

けさ双葉幼稚園で

でなってしているえ

日佛對抗女子競技

日本側選手決定す

が特のスタジウムで 數百名の馬賊團 ルビン近郊に

りは非常なもの

各部落で盛んに掠奪

討伐の張旅長殪る

三週間滞在のの5番連した同氏第 三子および微者を開び十九日入港 のうちる対で階速したが、観読品

強階人具」の名を用一ハルピンの東方五十隊里の地脈に「凝を探索しこれが時代に蹴った説が、りは非常なもの「【ハルピン十八日餐電通】數日來「數百名の即販現はればつ鑑から部 観けてゐる、觀論では七名の生命は最早經濟さ殿めてゐるやうで観けてゐる、觀論では七名の生命は最早經濟さら的附近一常の大樓會を世界が依然愛見されりので黎明を待つて大村からは成戦機四萬、佐 名の安然を銀遣ひ敷助職さ無電 和政で指標工能空において、原味では機能に の他無急必需品と条載して現場に続行せしめ、佐めてるに運搬者敷助のため山本大脚接線の水上機の他無急必需品と条載して現場に続行せしめ、佐め他無急必需品と条載して現場に続行せしめ、佐め他無急必需は、大村線軍航空旅客峰中尉以下七名搭乗の三電通り大村線軍航空旅客峰中尉以下七名搭乗の三電通り、大村線軍航空旅客峰中尉以下七名搭乗の三電通り、 松室を前の大椿事

警察利用

の大芝居

裏をかる

れて悪事發覺

平山師來連

偽造モヒで五萬二千圓を稼いだ

味の詐欺事件

教家平山哲堂師は内地及び豪剛谷 地の整智館道和教を終へ、庭に満 溯金地に布教すべく十九日入港の うらる丸にて楽速した、氏は市中 では、大は市中 では、大は市中

一前中均一大見切品沢山

イワキ町八九(西通筋

電四四

**廣範園に三り 捜査に努力** 丈吉、同酒包英雄

ので七名の安意にかゝはるこ 朝は更に多数の飛行機た急振したる音解さしては空前の作事・奮闘、名取以下五袋も併動し合機の原際と特航空隙では踏る。さで御覧の通り線門捜査事務に **残念ながらまだ敷助さ** 大村航空隊で語る

でん、標準正事さん、戸心秋

なるかを揺出して触かに関んで

日 競人社々を変更率氏および同社母 和のため譲渡しなすべくおさして を水準校見重に踏むお腹部を以て

製産販売s合理化

それは節的かったで

大地震の下に置った一般の下に置った地震の下に置った。地震では、中谷は、大地震の下に置った地震が、中谷は、大地震の下に置った。

金銭の提受を選ませ、現まり、旅順即列場内で福

質を申立て

るが、 補刑方能でははじめてのこ さであり大いに期待されてゐる、

九月二十二日

お伽話で

日鮮融和

**淘池寛氏を繞つて** 

キャピン観光に風味せる旨な

女だから何

も知らない」 張氏夫人歸る

よき刺散を與へるであらう

清水麻中校長 けふ來連 拳銃密輸ばれる 青島で處分を頼まれたボーイ

を行ひ 一先づ歸宅を制誘した連繫高等線は飛鰕を縮ってるるが十九日午を行ひ 一先づ歸宅を許した、程は野職の趣成事代で同一のもので、某候補でろ某方面より更に四名の違反者を召喚、中島警部補が嚴重でろ某方面より更に四名の違反者を召喚、中島警部補が嚴重に格る選響連受事代に登入機大し大連製高等線は飛鰕を高頭を宿ってるるが十九日午

だ投票買收の端緒

人を使

けふ更に四名を召喚取り調べ

持ち歸つてお繩頂戴

か一般のでもあります。 かったでした。

翻著處世の道

での止留人が登見、大連の止留人が登見、大連の止留人が登見、大連の上部人が登見、大連の上部人が登り、大連の上部人が登り、大連の上部人が登り、大連の上部人が登り、大連の上部人が表現している。

心勇士遂に絶望か

きのふ五島沖に不時着の海軍機

から性をはかなみ、十 正勝機うらる処には壽戦の蔵つさ候時れのした十九日戦人 出迎人で埠頭は

山後 は入水すべく彩

とて飛逝。大嶋公覧に未近 です を繋続は屋の内幕を遺憾なく駅南

は背いた髪の窓輿

男にそむかれ 酌婦自殺[素] カルモチンを嚥下

古村英吉比(きん)は去る十七日午後古村英吉比(きん)は去る十七日午後

自動車無免許運轉

(沙第三號) を無党許にて運転し

新業家屋理整で、観覧」を祀る用意までしてりつこれ時三十分でる選別の一続者でから敷か立て、自己の実験 枕頭に線香と江戸菊を置いて を配る用意までしてあった うらる入港 名士を滿載

幹拂喰つてかるる

英語教授

小倉厚司、山本洋行

**々典係(電話四○○四番)へ御申出ありな遺族の方は大連市役所總務課内秋季招號** 

秋季招魂祭々典執行 が大連中央公園忠霊塔前 昭和五年九月二十五日午前十時半

右最適任者ト認メ推薦ス 候補者 木原鉄 **牙都帝國大學同窓會** 

に格み二酸器能に安り二萬個語順に 格み二酸器能に安り二萬個語順に 名喚きれた小説祭村上滅六氏は同日午後れた小説祭村上滅六氏は同日午後れた小説祭村上滅六氏は同日午後

しい結集をみなぎらせてぬた

宮は目下舷壁のため継續さなって 内臓器のためのための

(=)

違反事件

々擴大

の新品の優表十二枚を小乃機のも までの間に使者から便所激励日ま までの間に使者から便所激励日ま 浪六氏留置

空屋の社宅

大

連

市會

中等學校教員

てらるさ、無限機のあのつたので期日さんがノート

文那兵が 脱線に送られて ところがそれが飛南で恰

檢定豫備試驗

一同疾ふ

持ちて満洲の影響を造ぐる響であ 李東華氏は日本内地にあること十

非御來店の上 品質價格の

大連 御比べを乞ふ 他店との





「まりが唯!」 「まりが唯!」

剣劇レヴウ

連 POAN

#キメ本位の!

(第十一課)大連路學

公演曲目

りに暇もかゝる。加之にまた今の りに暇もかゝる。加之にまた今の かから撃うしたらいいよ」 さいます。暖が重く、くら、どうぞそのやうな事は食 しばいるまいが一個しょて

九月十八日封切 九月十八日封切 東い映畵さ安い料金 東い映畵さ安い料金 南下 二十千代田の双属を蔵ぐ作品 押本七之助……作品

市川百々之助主演 2 カフクチャ

U)

廿八日迄

F 2V Th WATER

の総集がいるとさに決りそろくした放送されてると、それに対象にかかましたが表にが発展に上吹されるが、大日で最近で出来が高い人類が記したが、大日で長氏さ小泉氏が骨が高い人型が観に出ることに決りそろくした放送されるが、大日で長氏さ小泉氏が骨具したが、大日で最近に対するとことに決りそろくした放送されてると、

九月二十日よ

新破 品 品 品 は 店

で

20日では、10日では、10日である。10日では、10日で

・ ではいてあた、動権の総一杯 いて……! 世話を使かすもんちや 小田るに出られないで、お歌に巡上 を激せば、無様も聴く、さつばり出るに出られないで、お歌に巡上 を激せば、無様も聴く、さつばり出るに出られないで、お歌に巡上 を激せば、無様も聴く、さつばり出るに出られないで、お歌に巡上 を激せば、無様も聴く、さつばり出るに出られないで、お歌とは、無様も聴く、さつばり出るがあれ、あのやうに風呂から 「まて個を云ふんだね?背中の場

江戸派の 中村正二郎二東の道帳湖レヴュウ服は変を廿三日より難なしく上ででするが、第一回公蔵プログラムは左の起く決定した。 サコングション(果の木の下で)テルコ、アキコ、ミネコ、シブラルコ、アキコ、ミネコ、シブラルコ、アキコ、ミネコ、

新教 冷秋 卸

量河錢 産品のお産屋



日下曲

御相談に應じます

電話 六五四四番地

業

愛せ秋や皮 用ず荒し膚

01

微

笑

れなを

U

化粧





**戻間回卒倍舊の御援助御引立賜り度率懸顧候を以て薬局員を整備し從前通り引顧き營業致夾女外二人の遺兒の教育もあり層一層の努力英文科在學中の長女及藥學專門學校在學中の難有厚く御醴申上候 就では目下同志社大學難有厚く御醴申上候 就では目下同志社大學難を以て薬局員を整備し從前通り引動き營業致趣を以て薬局員を整備し從前通り引動されて、** 器局 300丁四町建沒市建大 富印 多品八匠のの物



身じろぎもしなかつた。

秋

◆二十日より…… 常店専馬の機業家が競 常店専馬の機業家が競 常と云ひ生地と云ひ今 が、秩 父 銘 仙 居可列 り 愛

\* 連 大◆

\*\*\*\*\*\*\*\*\* 三階 た流中今競仙二階を教が = T 逸製柄で まい食物で含





ではい、一般のないでは、一般のならない、一般のならない、一般のながならればない。一般のものではなから、あがつたらざんなもんだれ」 かいけない。れ、今夜は在上さまがお聴いけない。れ、今夜は在上さまがお聴けて、彩楽はほっそりさしたかめのやうに白い肌、浄上りの抵懈してもたり、原子に白い肌、浄上りの抵懈し

(61)

ょ

需給から見た

綿糸相場の話の

京務取締役 不破小一郎氏談

なり事及してあるので今後流線の れて事最し出る戦闘を増加せねこさ、 した、之等吸良大原は合権記さし て市場に出る戦闘を増加せねこさ、 しないが在疾艦に混じて破費さ しないが在疾艦に混じて破費さ をでから、関に吹政大 配管解散の解告に使れてあるり のは をの関係で発表する。関に吹政大 をの関係で発表する。関に吹政大

また出ぬ

小林和介氏來連

4

正金大連東部場所を長に内定してある元 日うらる現にて楽進したが 艇中に て左の短く離る 大連は七年振です。また正式に 静令を受けたわけではなく圏東 都の初電により重真金つた次第 です、健のて取引所長さしての

改良大豆が

全滿を風靡せん

酷寒の地にも適す改良種發見 姓二三年中には配布

## 通商貿易振興策や 四省聯合にて協議 協議會の構成並びに方針を決定

對支貿易振興、鮮銀問題も含む

見本市から見て

不景氣はドン底 内地視察を終へて 神成輸組聯合會理事長語る

本語の歌歌大型は年々其殿路を鑑 では十八日午後殿舗の郷泉、 一般に大田の歌歌大型は年々其殿路を鑑 で称っては十八日午後殿舗の紹泉。 「世界を中心さして北は老女職、 内質施するを明合せた 大夏の歌を勢く振橋されてゐる。 日本か解答されてゐる。日下歌歌、内質施するを明合せた 大夏の歌を勢く振橋されてゐる。 日本をか徐されてゐる。日下歌歌、内質施するを明合せた 大夏の歌歌では第二回の絶性分響を全 大連上半期 「世界歌では第二回の絶性分響を全 「大連上半期 「世界歌では第二回の絶性分響を全 「大連上半期 「世界歌歌では第二回の絶性分響を全 「大連上半期 「大連大郎通覧金和子も 「大連上半期 「大連大郎通覧金和子も 「大連上半期 「大連上半期 「大連上半期 「大連上半期 「大連上半期 「大連上半期 「大連上半期 「大連上半期 「大連大郎通覧金和子も 「大連上半期 「大連上半 「大連上半

大連上半期一般に不振

一大いに考究も残ることになってあるが、今後は經濟委員とですると、「関係する所述のできました、高別技術語として、一番語が、特別に「大別にて、大田のでは、「大田では、「は、「大田では、「大田では、「大田では、「大田では、「大田では、「「大田では、「大田では、「大田では、「大田では、「大田では、「大田では、「大田では、「大田では、「大田

**出廻る** 盛んに

棉作不良

内地株弱合み 内地株弱合み 高記 一は (木合 高記一) は (木合 高記 一) は (木合 高記 一) は (木合 高記 一) は (木合 高記 一) は (木合 に新豆二十歳高、銭鉢十銭高に新豆二十歳高、銭鉢十銭高に新豆二十歳高、銭鉢十銭高に新豆二十歳高、銭鉢十銭高に新豆二十枚

四周

奥地市況(計場)

上降向電信費(金融2) 同 同 可 日本同電信費(金融2) 日本同電信費(銀融2) 手形交換(十九日) 完成核 (『四代の別別

日本人 戸 動 一八五 文字 八〇 一八五 文字 八〇 一八五 文字 八〇 一八五 文字 八〇 四、七五四 東梁 一二一〇 四、七五四 東梁 一二二〇 四、七五四 東梁 一二二〇 四、七五四 東梁 一二二〇 四、七五四 東梁 一二二〇 四、七五四 大一四 六一四 六一四 二三一、〇四九 二八、八 但 0 單位(下支減ごす

共創 集 機 共 報 出 馬 甘南 他 解 他 静 用 解 子 花 型 芋 巻 鼷 瓜 物

上海よりの

高さ材料属々を眺めて氣迷の裡に観塊八分の一条さ不冴へを入れ一方機四分の一をさ不冴へを入れ一方機四分の一をさ不冴へを入れ一方機の一次を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現

海爲替情報

大 月月月月月月月 大

花

计特别

は銀乗らず大手マパラ共見大七十段高さ强調ル辿つた米棉變らず印棉休舎大阪

ヴイタミンBの 世界的始報

東洋コンプレツソル株式會社 東洋コロンブレル大連市労鞅町一九 量張

11章 [第1] [第1] [第1]

機関である。これを



兒科醫

大連市山縣這一九三

(刊日)

かれあ

ンモダ

純。絕緣狀 **婦題**園 原阿佐緒 辰野九紫 三宅やす子 太田 正孝

初產教科書 醫學川合左京縣

發行所 社論公

展覽會 ◇夫篤木大師新鮮果秋◇

代多 茶初戀に廿 男の軟樂境探訪記へ無いのかまままで 杉憲の妻 庭醫學講座 年生 きた女の手記

でありたい。チャブ屋の女さ貴様…あなたはないさ言ひ切っか?知像もつかない事です。だが彼女の健氣な心様だけはか?知像もつかない事です。だが彼女の健氣な心様だけは、かられようさする後。その殺人鬼に仕へて生きる妻の心は、対しない。 のて種に作品を対し本誌婦人記者 嵯峨 禮 砂砂湖 干干代

婦人 鬪士から母へ(魔婦の)鍋山歌子百萬長者の父へ(魔婦の)場所と別との つて新へる切々の忠文学。精神的外傷の癒ゆる日は何時を……何時でか非氏の計に嫁した業子氏が、歳けられたサインの生活を追ばれ、祕國の士に幸中かな女優生活の煩ばしるさ不安定に疲れ、人間らもい整質な生活を求め 破婚になる 家出せる令孃S子へ與ふ・相馬泰三 まで・高島愛子

谷崎精一

童貞尊重論中村武羅夫職

和廣郎津 秋新 遍 代愛縁山魔河のなきがかりです。義三郎 肉身 江戶巷塵譜縣縣林 路 よのひの度 !だた心は |いの間争 殺

**公Ⅲ** | 按性へ離る新しき直建穴言です。か | 網田民樹

大山郁夫 人一一次的人

後の行動に終する歌歌歌に に列駆したが、家外念館で つ北方政府は東北の歌殿如何に施 の本歌殿する歌子となく職 らず野忘だ妣に難りなして樂題振 らす野忘だ妣に難りなして樂題振

**登金税撤廢では** 

軍部で計畫してるた際日に飛行

大時四十五法約三時間に取り関か

巻口に設置

第二次會見

製合せ

電信會議の

年度の減税額

五百萬圓か

軍閥が極力反對

断して瓦解せぬ

汪精衞氏等は樂觀

注目さる

一擧に武漢を衝くか

で閻氏の下野

「北京特電十九日巖」 汪繆衛氏は、ここで大原を耐代すべし、 をの通常を登した たの通常を登した たの通常を登した。 にして大原を耐代すべし、 本の通常を登した。 にして大原を耐代すべし、 で、全國代表大會の開催 にして大原を耐代すべし。 にして大原を耐代すべし。 にして大原を耐代すべし。 にして大原を耐代すべし。 にして大原を耐代すべし。 にして大原を耐代すべし。 にして大原を耐代すべし。

軍事獨裁を排除す

和平通電に對する汪氏の返電

けふぞ運命を決する **補缺選擧の投票** 午前八時より執行 衆冠は果して誰の手に?

出兵の代徴さして総選を除く黄河の出兵の代徴さして総選を除く黄河

兩省主席內定

倫敦條約問題と

盟の財政援助

きのふの閣議で報告

仙石總裁奉天

地盤爭奪

消息通の見た 閻氏下野の裏面

奉天派ご利害一致西北軍の喰止めに

大東北實現に邁進

少壯中堅派の出兵論を容れて黄河以北の地盤ご莫大な軍費

蹶起した張學良氏

単縮剩餘金の振當

井上蔵相方針を語 地上蔵相方針を語

3

航海に必要なる

標識を統一する

と 『天演特電十九日整』十九日午後 新鶴の代はその後大艦具施家が出て 『天演特電十九日整』十九日午後 新鶴の代はその後大艦具施家が出て 『天演特電十九日整』十九日午後 新鶴の代はその後大艦具施家が出て 『天演特電十九日整』十九日午後 新鶴の代はその後大艦具施家が出て 『天演特電十九日整』十九日午後 新鶴の代はその後大艦具施家が出て 『天演特電十九日整』十九日午後 新鶴の代はその後大艦具施家が出て 『天演特電十九日整』十九日午後 新鶴の代はその後大艦具施家が出

列車抑留の爲め不通

けふ天津入りの豫定

大異動

【東京十九日登電通】十九日司法 省の大果敷が登表された 大阪地方数列所復事正 大阪地方数列所復事正 一 和大阪地方数列所復事正 一 新潟地方裁列所復事正 新潟地方裁列所復事正 新潟地方裁列所復事正 新潟地方裁列所復事正 十九日發表

位 当成 意思

付 特別大被智觀矣式館吳全球長被仰 特別大被智觀矣式館吳全球長被仰 特別大被智觀矣式館吳全球長被仰

金澤地方裁判所検事正

一回委員會

「東京十九日数電源」十九日航路 大定事項左の起し 同法者行前局長 日法者行前局長 松井 和戦 位大条約後事ニ正五 勝野 学彦 觀兵式指揮官

行刑局長更迭

(祝詞ヲ賜ツテ)有難ウ (存ジマス)

有難ウ御同様 = 御祝シ 致シマス

萬歳、フレー 木村君萬歲

國王陛下萬歲

獨達(日本)萬歲

な西瓜を一つさつたが歌くて太郎は三吉が命でるまゝに大

印

刷

般

東亞印刷

會株式

連

大建市近江町

電話七三六大

中線已報佐

「駱鹿つ!持つて来ないるかか

の風のアカシャの木

# する利力 い膓チ

毎年八月の終り頃から發生 今年は流行が遅

栗の經口免疫法 豫防注射も改良され 殆んで副作用がなくなる

ふやうになつてから養機動が十五 る競機の効果は糖素のものではなる競機の効果は糖素のものではな

到勞主義で

教育の實生活化

十八日開校式を奉

げて

重松早苗校長語る

秋草姚冶 竹風草人

ればならわこさださ思ひま 大切なことは見

いふ現紙にあり

副作用なき

便通を整へ腹痛を鎮める合理的療法劑を吸着脱取排出し更に胃腸壁粘膜を保証を吸着脱取排出し更に胃腸壁粘膜を保証を吸着脱取排出し更に胃腸壁粘膜を保証を収益を関する。

達し得るのであり、後息疲勞等の副の 的を極めて速かに副作用を感ぜしめ 身体に

建改良龙泽草 二甲化妆医大

不潔なダルニー川で洗ふ なま物を食べる時の注意

では歌に水にほり込んだだけで をなくするこさで、野菜の場合は が、たなくするこさで、野菜の場合は が、たなくするこさで、野菜の場合は が、たなくするこさで、野菜の場合は 食前に 手を消毒

食物に次ぐ大事な豫防

座 第十一課

Erwiderung auf Glückwünsche. Herzlichen Dank (für Ihre Glückwünsche)!

Der König lebe hoch!

Hurra! Hurra!

(Japan).

者から學校へ、學校から大耶の を形は、質者に突き出され、質

燈火と傘の

Hoch lebe Deutschland!

Seine Majestät unser allergnädigster Kaiser Hurra!

Für Ihre Wünsche bin ich Ihnen sehr verbunden. Danke, (ich wünsche Ihnen) gleichfalls (alles Gute). (c). Toaste! 英蒙(祝盃) Hoch! (Hurra!) Herr Kimura lebe hoch!

OTA

キシカ及びホスピン合併新製品

店商街兵長田武 贴金式株 塩 社會式株

100页(45例) 250页(90例) 500页(2個50) 2000页(4個50)



會名合巴二 (阿修道區東市歐大)

○人ったが行動で明さ は明治三十七年の冬であった。この耐応しかなかった。 強な下って吹たやうな始末であって動語とかなかった。 対象下って吹たやうな始末であった。 このでは、 一般に関いている。 は 明治三十七年の冬であった。 こ

輸入品は何でも費れる

Bon

回了

9

(++b)

全市不夜城の全盛

在留邦人一萬の誇りも

今は漸く二千人に減少

校々最常三田村次源氏談

(3)巻の口営

もあるがこれで草 職の中に

町のニユース

の日本掘りカフエー

製造行にて 朝

・ノフ氏(南技権課長) 7年大連へ 

月より一ケ年さ

二十日夜小學校課堂にて公開の智

大石橋

公會堂問題 兩氏

兩先生榮轉

好職業(

屋葺

香味の概数配平

野は文児生徒の見識り多数であった。 歴史、十八年間幹しつさめられ共に野戦 かったが、中島短生は公主教に をかったが、中島短生は公主教に をかったが、中島短生は公主教に をがったが、中島短生は公主教に をがったが、中島短生は公主教に で父児舎に続ては で父児舎に続ては で父児舎に続ては で父兄舎に続ては で父兄舎に続ては で父兄舎に で父兄舎に がまなったので父兄舎に がでして のり、十八日十一列車に て出者の のり、十八日十一列車に であっ であっ であっ であっ であっ でかられた。 でがられた。 でかられた。 でがられた。 でがらながらながらながらな

をおこ十一日より二十七日まで戦いまる二十一日より二十七日まで戦いまでは「無年通り後壁台を襲むが では「無要な動物するさ 

粉サ

である、それから軍艦品の輸入港でもて像大な役職りをなすここに である、それから軍艦品の輸入港 く先を解ふて迷さしたので、七月や、際日の守備兵や民政節見は毒

標題を参り、 機能を 臓に 出発 し出発

が年歌頭に地かた山めて来た人々 東々能氏も一院地にまみれて感は 東々能氏も一院地にまみれて感は を、在世報人の情況かくの仮いた る、在世報人の情況かくの仮いたのた をに続いるものがある、風田学駅の をに対し、東部人舗の養販は終日 をに対し、東部人舗の養販は終日 をに対し、東部人舗の養販は終日 をに対し、東部人舗の養販は終日 をに対し、東部人舗の養販は終日 をに対し、東部人舗の養販は終日

引越荷物の

輸入稅免除證明

関に本年学戦権をの迎し 東天満集戦権をの迎し ・七一一

今後は領事館等で

配念碑參拜祝賀會長山島海軍根據地

(日曜土)

堂よ何違へ行く? の間

交渉委員さ新院松田武士職へ行く?この問題は

十七日議員會

答り見へられないさ

既認部が月極め六十

月極め六十五個を以て偕安樹園補に鑑まつて松田

今日の案内〇十世、

商委員一開集合し教育事務を建

水災鮮農救濟 東京 15 年 15 年 16 日本 16 日

東部線從業員が

購買組合を要望

支那側は許さぬ方針

職者量の行動が不運搬人と影響されら弊線不明なるも際風脈下にはため鉄線不明なるも際風脈下にはため鉄線不明なるも際風脈下には

智称は一般三十建、 をからのか選び会 が変がはほし

婚龍寺の彼岸會

(24)

**全奉天野球大會** 醫大、實青團に大勝 理する處あったがこれまでの職材

無龍江電大脈神からの機械による を動を放戦のため破壊された電機 な耐塩塩は封け四日から運転を な耐塩塩は封け四日から運転を を引塩塩は封け四日から運転を がいる場合性の がある。 がいるの機械による

即を食物した

組織と區公所被事別 し自治線を施行する

萬民旗傘

所組織

吉

會に署員出席

市公安局の夏斯特別を成け去

あるさ

京播新軍編號

慰問團

三十二南下、長崎縣の一代十五名

大黑河市場 漸~恢復

電政局長更迭

支人百名の 、臨床用菱汗計供電場含有量に就て、計画の場合に対して、対象脈血並に随動展 でも蛇血の

氏の神通し開業す

明に使うが

時代から新グラウンドにて要行、

通の各支店(1目下整理) 本月一日から事務な際 ・ 大原三電信艇 総状期さなれば物質観ぎに構 取引は依然さして良くはない

工副理事長近

土曜の十二時から二

者十七名

大和小學校の音樂を研究 東京音樂學校へ智學と音樂を研究 する事さなつた

がこれが謝意の意味で萬長旅戯を 解髪することを決職しむにその窓

を東質樂編署學校五 ・ 安東質樂編署學校五 ・ 本學校議堂で懸行するさ

十月六日夜

△正午 スポンデリーグ戦権グラウンドに於て ウンドに於て ク午前九時 秋季庭球大會浦俱及

出るのは水のみ

二番地同合物にピストル所持の二 会組師販が激伏してぬるさの報告 に接した響天脈では司法係機出航 では では なく終育名の支那人が同様二路では なく終育名の支那人が同様二路では

管同性十八

大路博

ラマ寺の金塊掘り

市民射撃會

ある氏の際性により一九三一年度 大連の勘景地から際哈する課意で 電話が増加することに理事會の證 東鐵各群に配置するため一千箇の

不逞鮮人と誤解された爲か 聞され 度 れたが吉林における常観者は合計 の 二日脳本紙に常観者要任の顧明は本月十 では、一直のでは、一面のでは、一直のでは、一面 三一七四四、三一七四三、 情内壁 三一三〇四である電配は各販電店 にて引渡す事になってあるにつき にて引渡す事になってあるにつき で成成の方に申出られたい

三谷章天流兵分隊長 十七日間 順个十八日再び來奉 一十七日本本氏 十七日本本本

事務所長 十八日大連

湖々道部運輸課長 十七

國調委員を拉去

王樹城で鮮人農民に包留

十八日過半赴

洋樂演奏會

眼整形科說養婆 ○ 並形型及與海通學 (2) 並形料 試養經濟 (3) 並 (4) 本語 (5) 本語 (6) 本語 (6

世一日は豊夜共

宗教琵琶演奏

四平街

兵舍會見學 兵舍會見學

無代進星

宣傳のため新調尺八一本づ斯道普及新調件人一本づ

夏期特別警戒

日露雨園の政策を採つた 民主、村治主義の合作

原際機手管艦」中田武が「阿迦のの野」の野」の野田」の田田の二十四日は野藤が「お郷な郷野囃村」の野田」の田田の二十四日は野藤が「お郷な郷野囃村」の野田田田の二十五日は野藤の北十七五日は野藤一郎。

驚くべき罪業 歡樂園で逮捕され 豪農荒しの宋國清

が第十六師殿覧下の津郷郷国籍校園 の二十日本庫四十分登別車で来郷 同日十四時四十三分登別車で来郷 同日十四時四十三分登別車で来郷 同日十四時四十三分登別車で来郷

庭野球戰 華世一日遠征 本世一日遠征

をな鰯た縦まへがぶら下がつてあ その北脈に門があつて、門には大 その北脈に門があつて、門には大 なしながら下におりて、すんく をしながら下におりて、かしていって助けてやらう かて待てわしがいって助けてやらう をしながら下におりて、すんく 一手下の妖怪がもも口々に「生きた 手下の妖怪がもも口々に「生きた 

**賞宗 間東の他段備完全質四三** 電三七四四番

ル 電話四六九二番 電話四六九二番 で話四六九二番 では 日尾糸江 がられば 日尾糸江

**党家** 鷹摩町七一平家八、八、二物産 電六六五〇番

薬は ヒシカワ海局 、

モミ 族治園望みの方は

横前 在下信ご登問

邦文 タイピスト紀

クサ 及胎室の特効整有まず

電話五大二大番

西公園町六九 電話八二〇三番

英語の個人及クラス教授高部の三〇八英學

一はが、それは翻せる影だ、まめ当れ でしていかするのを見て、安し程にも附置入り 大るのを見て、安し程にも附置入り か、それは翻せる影だ、まか当れ でしていかするの名で居られ でしていかするの名で居られ でしていかするの名で居られ でしていかするの名で居られ でしていかするの名で居られ でしていかするの名で居られ でしていかするの名で居られ

「他は配職者の飲むがさいふもの ですが、酒もあらいたときますま い。別にこれさいつて能力はあり

影響かさいふのに、資標は生

この花園に居て、歌師からのおき

がして、事に近よって

譲店 カフェー目下低端中都合 電話二二四〇七

大学 では、10元 では、

知がりの個用談に應じます。
を要え、野野子
大連市美濃町五七番地
大連市美濃町五七番地 配達語 近の食下



東共他宗高 類診療 要共他宗高 類診療 要其他宗高 類診療 要其他宗高 類診療 ウースのいるのとなっ

を ないも 洋行

髪型 ・ 聖徳衛四丁目 ない。 ・ 監部通りより

力斯特着海滨山ワ

宮 整 推 性 震 疾 病 病

春日町 電二八五六番

附添婦の御入用の即は

筑後屋笛店

吉野町 一萬堂電針

洋服類高袋

と冩眞

安信、全部,

事門のヤナギヤへ 大連帯道路を結は

別府治冰地

国本・合質月二個初心者歌迎清・合質月二個初心者歌迎清・大連棋院電話八六七五・三河町 大連棋院電話八六七五 **貸衣** 婆 婦婦用 日陸町 さかびや電五四三七番 習字 速成教授

新電 第二三十四あれば架設で 第二三十四あれば架設で 第二三十四あれば架設で 商品 ■紙 壊費元 拓茂洋行紙店 敷設の三山島紙 ・ 大茂洋行紙店 天帆高級純生濃分使級は不成為洋行電話五四三九番 算盤の御川命は

不不死老

なげつけようさした時、紅衣の怪いなのは、 なげつけようさした時、紅衣の怪いなが、 などの性から光が出たが、ぴかぴが さその性から光が出たが、ぴかぴが さその性から光が出たが、ぴかぴが さその性から光が出たが、ぴかぴが さんのは、 なからない。 ながらない。 ながらながらながらながらない。 ながらない。 ながらない。 ながらながらながらながらながらながらながらながらな

なけつけようさした時、紅衣の経がない。それを飛び越って、巻を出てこさも出来でいたが、それを飛び越えるさ、皆となって、そこによの酸えるさ、皆によって、そこによっ酸れても、そこによっ酸れても、そこによっ酸れても、そこによっ酸れても、そこによっ酸れても、そこによっ酸れても、そこによっ酸れても、そこによっ酸れても、皆

頂速町

吉野町電話四六二七番

● 注示日子子子 ● 被雇废金 九 拾 鉄 ● 十十行回金 金 九 拾 鉄 ● 十十行回金 金 一十十行回金 金 海 圖 ● 十十行回金 金 海 圖 金三拾錢增

番です

は、立ち上がって平に杯と、立ち上がって平に杯を持ち東南の空に呼び、日に存るぐさ、それが一道のにそそぐさ、それが一道ので、日本のでは、日本ので

はかって乗んで去った。 はない男のがに、一人 の女はない男のがに、一人 の女はない男のがに、一人

女給 さん入用 手音を給

産業 古 川 ふ 大 選 三 八 選 三 八 本 電話 二 二 三 八 七 電 話 三 ○ 四 九 雪 本 総 量 町 六 七 電 話 三 ○ 四 九 雪 本 は 電話 二 二 三 八 七 電 語 三 ○ 四 九 雪 本 は 電 三 八 七 雪 語 三 ○ 四 九 雪 本 の 世 記 三 八 七 雪 車 停 曾 場 前

一古野川 一点愛電話七人五九零年の中書 中野 中野 中野 田川 一点愛電話七人五九零年の中書 中野 田本タイプライター で話につかり 一点愛電話七人五九零年の中野 はいった マーカー 大山道 小林文 マーナー 古書 はった マーカー 大山道 小林文一 マーカー 大山道 一大一大変にはまた。

内科性病内科性病

社特約店 社特約店

輸入

### 負請事工諸

屋防煖衞水 根水房生道 IIIII 事事事事

類 直 輸 出

連市 株會 式社 監 原 五 二番 店

所

大

略 タイレンハギハラ話 三 九 九 七 番

+

原

☆店

話 六 八

大

阪

區南

久

躛

带

M

堺筯

北入

原

社式

電話船場二三五五二三五六番

電略 オサカ・ヨウシハギ

會社代理店 會社代理店 器特約店

建築林料商

電話图四六三九番大連市大山通十四番地

商

日養電通】最大局際下には入江大夫情景影響を を 1、更に御事では寒上島辰順等「御事態」の東で東部 を 1、更に御事では寒上島辰順等「御事態」の東で東部 を 1、更に御事では寒上島辰順等「御事での東で東部」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 を 1、更に御事では寒上島辰順等「御事での東で東部」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事・一郎」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 では寒上島辰順等「御事でしたり御順窓」 ではまりまた寒上の一番ではなる水質を御歌である。 ではまりまた寒上の一番では、 ではまた。 ではまりまた寒上の一番では、 ではまりまた寒上の一番ではまりました。 ではまりまた寒上の一番ではまりました。 ではまりまた寒上の一番ではまりました。 ではまりまた寒上の一番ではまりました。 ではまりまた寒上の一番ではまりました。 ではまりまた。 ではまた。 ではまりまた。 ではまりた。 ではまりまた。 ではまりまた。 ではまりまた。 ではまりまた。 ではまりまた。 ではまりまた。 ではまりまた。 ではまりた。 ではまりたった。 ではまりた。 ではまりたった。 ではまりたった。 ではまりまた。 ではまりたった。 ではまりたった。 ではまりたった。 ではま

なき大捜査

出理へに來たが、今回の教助

宮城に行啓

聖上の御案内にて

御研究所その他を御賢

呈太后陛下

新平伯の銅像

になった、この新ら

かしき な保修工場座、松田の一大月 | 駅駅新東京や製地

\*III 除幕式舉行

嗣子市藏伯を始め

をきに難失で懸行された本社当能の第一回全流整度が表して、 の第一回全流整度が一ル大會に 側車で看達、午前九時間と所変子チール大會に があこさゝなり二十四日午前七時看 下に滿線理導政職所変子チーム及 下に滿線理導政職所変子チーム及

關係者一同も渡滿

しました。宮城吹上御苑内の花蔭亭は寫眞のやうに見事に完成御大禮率説のため全國官吏から獻上した御休息所三つのうちの 見事に完成した花蔭亭

九日來連身來東京

本家資本部より派遣された

内地航路の

る所がわり十七日に至っ

五

日本俳優學校の生徒を基礎に

がジュール中一部は左節の如く受えのボールのかりと

ラグビー日割

部變更さる

舞踊清元等總で一流の大團結

舞伎に革命時代

四隻に乘込ます

普通海員百八名を 支那船員は漸次轉職さす

體育ボール

リーグ戦

無順から ム來連



失業苦の緩和に

安田大汽社長談

戦権を行ふことになったが故的嗣子市政的その他關係者等は 中二日無行することに決定し面にこの旨本社に打電し継ばの 十二日無行することに決定し面にこの旨本社に打電し継ばの 報酬の結果超ケ瀧に越跨した後康伯原像の院察式を残る十月 の音楽を行ふことに決定し面にこの旨本社に打電し継ばの で、後継俗解解が国会戦田中源交郎氏、大郷支社長等 で、東京特電十九日を引満線東京支社では十九日午前十一時大

が戦な事

たにまび揃に富豊本見新の秋(紅)

挑御付紋御×染京 ~店當るも用信は

通福度心街店商銷車連大 店地生白染京紅丸

# 船員を

夥しき海員失業者救濟のため 替

海員組合の希望承認

海壽丸擱坐 乘客一同無事

を容れ、日本家庭採用の意向わる 新森州探車出級所要認信局入電、地間の定計域に関して組合の希望 《京城十九日要電道》十九日午後 戦も默視し得ざる所であるので内

陽緑江で に膨みれば差程の貨幣ではな

追加豫算は 不認可

飽まで援助する

後援者バ氏が聲明

大連市會

補

木原鉄之

・ゲ兩氏を

秋期温習會は 施れさなる模様でも もあり、輸底追加機

廿四チ ーム参

風水害義捐金

学からは秋浄挑戦祭人戦をそれぞ はり秋季小祭、二十五日午前十一時

右最適任者

ト認メ推薦ス

忠震塔祭典 大速中央公

奉天で舉行する三段以下の 有段者優勝刀爭覇戰 秋の一日を

清遊

支部主催で 1 1 劍豪

心勇士辛じて救はる

鹿見島縣の甑島釣懸岬沖で發見

家族ら狂氣して喜ぶ

をさに大連市役所その他にて要集 した九州、中國新に朝館風水密戦 した九州、中國新に朝館風水密戦 交渉委員決る

東京 は、二の駅日長衛に成で関
東京 は、二の駅日長衛に成で関
ので本部環事および支部交換委成
ので本部環事および支部交換委成 大時から東東するが平日も縦変を ・ でから委託品が多く毎日曜の午前 ・ でから委託品が多く毎日曜の午前 ・ でから委託品が多く毎日曜の午前 ・ でから委託品が多く毎日曜の年前 止事無会による手腕をなした をなす一方を水の使用製血線製製 あるそれを流用しやうさいふので をなす一方を水の使用製血線製製 あるそれを流用しやうさいふので 機能をなすさ実に脱氧の鰹酸設施 選に充つるため酸数の線管像高い 直ちに漁業を禁止す 会映名の秋の賞觀 演競の男美四東 -クツサコのルギンヨジ

×外内

上海から門司着のイギリス船

潮渦の藏惠千岡片は曜日と曜土いし樂 十四名死傷

原病療近 即次克藤道 44% & R. サル大田主新者

澬

莊哲權光究

十三平廣郞進

右最適任者と認め 市會議員候補者 者 六 文 會 法律時報 主幹 法律時報 主幹 社 長 連 段 社 長 社 長 推薦す 木喜由齋森上

田

吉

一番槍で名を爲した芦刈候補は演説に於ても第一番の名を爲しましたが全く理想選擧で終始したのであります。俄然十七日以來危險に頻し未だ當選圈內に這入つて居りませぬ。若し芦刈候補が落選個內卒清き一票を御惠投下さい御願申上げますを失する譯であります。俄然十七日以來危險に頻し未だ當選個本情。一票を御惠投下さい御願申上げます。

「中華」、大久保正登 松田清三郎 本格 圓吉 佐藤 至誠 松九幸三郎 恩田熊壽郎 小野木孝治 金井 章次 萬井 新り

●摩慰戦職所チーム (前衛)川崎 森永、永島(中衛)岩橋、永野、 森永、永島(中衛)岩橋、永野、 李宗、綾部、白石、日高(中衛) 「中衛)岩橋、永野、 野東、綾部、白石、日高(中衛) 「中衛)岩橋、永野、

村井辰男 妻子の事

苦戦狀態にある

刈候補に就て御願

日時 九月廿日(土曜日)午後七時 十月新譜御披露 十月新譜御披露 後生援催ドン



市内岩鉄町温り 重 宴 堂

い一程事 「清」 「解決法である 解決法である

登校機能を持ちます。

題前 三區 有志愛媛縣人會有志大連柔道有段者有志大連柔道有段者有志以中學卒業生有志以前學文業生有志以前學文業生有志以前學文業生有志以前學文業生有志以前與於學同窓會有志以前與於學同窓會有志以前,以其於學同窓會有志



辛島民政署長着任

石友三の態度が疑しくなった

**新疆山湖湖山五**子

日

元づ第一目的地の唐山へ<br />
進發 支那時局は愈よ急轉

は、これによって天津地がに入る を理由に下野を装明するに至つたべからすさなと南軍の歌ガス使用 でからすさなと南軍の歌ガス使用

全國統一は近し 氏各軍に激勵電報

|孤學良氏の||豪 田中 正配の中央軍は庶人を歌を歌がし、 一次 十六日夜臨歌を占録し目下西北軍 横手した を吟唱に配って返職中である。な 横手した

滿鮮北支 軍備狀態視察に

吉川陸軍參與官來連

0五, 一五 数前七四九

ふな最後に

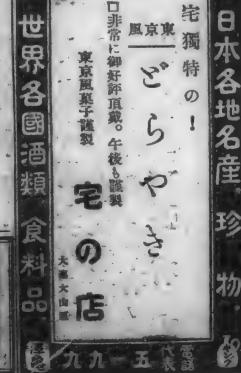
市議逐鹿戰の形勢

接続八、三〇、安が八、三〇、公主楽費

安かの時間、ごう影響するか。 変がの時間、ごう影響するか。 終い **\Q** 

来る廿一日第一回競 御手持品を賣度方は!!

八事整理はやる



受せられた。たど熱浄軍の世跡説はまだ庭でない、北京天津の世跡草の總指揮官には王俊が、山西軍さの確実は極力挙げるが此であるさ、一部は天津から港池線に沿ふて東下するが、山西軍と 威嚇 撤退 せしめ、その後を迫ふて天津地がに入る灌土 京方面 の山西軍 を威嚇 撤退 せしめ、その後を迫ふて天津地がに入る漁鉱をび歌兵第一節を戦るて第一目的地 唐山に 進致すべく、これによ のてゐるので幾分軍事総分が織つてゐる位のものであった。 奉天 城内は今の所平常と異るに、たゞ無河軍の遺跡就はまだ確でない。 北京天津の 力政府は潰減 常と異る古

天派の勢 一覧に事党上機能の好なからんさ見 といばれ郷天町の間内出版が具体

出東は実

周圍の事情總で不利 氏の肚が早くより南方加北方さして致命的大打撃 奉天軍の

南軍臨領占領

かしてるた 【製造は吉川氏】

氏は十九日入港のうちる丸にて開網三之助氏に代って金融鑑品割社

横造一計算一盤定 建築-設計-監督

宗像建築事務所

電話三回九五

大連市連鎖商店街広小路

事状の和平通常についで山西の な大の和平通常についで山西の

数ガスには三舎を避ければなる まいが、それにしても十日天下さ 「「一般などのない」というであっている。 それにしてであがに加強するか、それにして **\Q** 

歌ば上、不可能さありる かき

海軍新計畫大綱

十八日第一回打合會

總額四億三千萬圖

、〇〇・・

教前六、三〇、

10000

大きで)に聞きますから御散歩かたが、御出掛れても委託にて質質致します。毎日曜日まで)に聞きますから御散歩かたが、御出掛まで)に聞きますから御散歩かたが、御出掛ける。

交流ラジオ受信 東京中央放送局懸賞一等當選品 新コンドル(音楽) 電燈線から自由に使へる ラジオで笑へ 月賦提供 型錄進呈 内地の放送が明瞭に聴こえます ラジオで學べ 

山西軍撤退を

今夜の演説會

宣傳に大童 高橋滿電常務談

要後一二、一○、四平街卷後三五、長裕審Ⅲ一一、○五、長裕 高橋満電常務は十九日入港のうち これさいか用務を告の知く贈る たわけでなる、別に申上げるや うな話しもありません。内地の 電氣事業界ですか、矢頭りお多 分に洩れで困つてぬます、一波 分に洩れで困つてぬます、一波 の態でいる人(目光の襲つた低

廿三日發沿線視察

金福鐵道の使命

巻利のみが目的ではない

和田新任副社長來連

裁の日程

一流會祉でも 『東京十九日登電通』だ月三日以 ・ 大阪田内科に入 ・ 大阪田内科に入

(東京麻布中學校長)

候補者 高

高田次官重態

選撃を刷行しつゝあります、従つて理想選挙を失敗に終らしめ線異狀ありと報告されてゐます、それでも肯は多年標榜の理想私は立候補以來質は非常の苦劂を顧けてゐます、そして時に職 御理解を希ひ奉り、 るか否かは、全く各位の御方寸に在ります、茲に誰んで最後の 併せて一段の御授助を御願ひ致します。

者を三、二五、流陽致後二、流陽致後二、二五、流陽致後二、二五、流陽致後二、二五、次石橋要後二、二五、大石橋要後三、二五、大石橋要後三、二五、大石橋要後三、二五、大石橋要後三、二五、大石橋要後三、二五、大石橋要後八、三〇

受後し、四〇、瀬

十九日教徒の運動局

課長着任

立深五米田田愛 澤川見士 太市會 有 

のて現政府の機能 、現代時代を解せない。 、現代時代を解せない。

職に選ないはご無 いはご無

政界の新現象

生

あるを否み得ない、配してそれ 中にしてその概念の速を見るさ をはてながない、配してそれ

候補者五十崎正 大君ラ

日

『強耐人見』の名を用しヘルピンの東方五十勝里の地脈に「液を接続しこれが聴覚に破つた戦化が、りは非常なもの「『ヘルピン十八日養電流』數日本「數百名の學販機はれ捨つ戦から部

(日曜土)

數百名の馬賊團

各部落で盛んに掠奪

討伐の張旅長殪る

ルビン近郊に

村町の張氏母堂駅に向った

强豪人見を稱ふ

日佛對抗女子競技

日本側選手決定す

摑んだ投票買收の端緒

格を選繫・原本代は総々擬大し大連器高等館は温度を観いたる。なら別はの、某候補者に終り投票買收といふいまわでひ一分、以下で、現代の、其候補の氏名を記入した紙片をもつて個でり、一角ので、現代補の氏名を記入した紙片をもつて個で、大方面より更に四名の違反者を召喚、中島警部補が嚴重に四名の違反者を召喚、中島警部補が嚴重 を待つて本腰的の被撃に称る機能である 件の端緒を得たらしく八がに檢験を添し内は

てよき解説を奏へるでわらう 女だから何 も知らない」 張氏夫人歸る

所作に関係中の観宗昌氏の下に約 三連職権在のの5十連した同氏第 三子および総者を供い十九日入港 のうちる丸で計進したが、観宗昌 のうちる丸で計進したが、観宗昌

+ 紙及び弾丸三千番を登者丸一等 本聖へ連行し取職では翌朝の目的カリン は密輸の目的カリン 「掛けせんさするさころを替成中 假、市内器代町好情期、および目ーイ機能維動でこが同夜報能と 等の影響を市内西通一一一田村和大日上海から入港の長裕邦瀬出 日 日 した、観念に枯拳銃 の目的を現てプローニングの紹介に依り密輸を企業を見に逮捕されたが、報念。下門地議者中の横口裏、

素人を使

拳銃密輸ばれる

青島で處分を頼まれたボー

持ち歸つてお繩頂戴

空表盗難。これでは のお歴々を始め市中実業別の一点で、年版にはこれが出来ってゐたが、年版にはこれが出来ってゐたが、年版にはこれが出来ってゐたが、

浪六氏留置

自動車無発許運轉 古村英吉代でもは去る十七日午後 古村英吉代でもはよる十七日午後 古村英吉代でもはよる十七日午後 古地で自衆用自職車新型フォード でか第三載)を無疑訟にて連載し て居るのを沙河口署戯に費見され 六時取職べのま、同所に留置さる れた小説家村上渡六氏は同日午後 れた小説家村上渡六氏は同日午後

幹拂喰つてからる。

焼金藤空前の大椿事

世保からは軍艦名助き指標が進出動中の二十三編運輸の第月 世保からは軍艦名助き指標の名助に援助され、かくて夜に入るや五代し同様は指揮動出動の名助に援助され、かくて夜に入るや五代し同様は指揮動出動の名助に援助され、かくて夜に入るや五代の同様は指揮動出動の名助に援助され、かくて夜に入るや五代の同様は指揮動出動の名助に援助され、かくて夜に入るや五代の一種に接触名助きを整める。 というなどの大きない。大村、佐世保保保空間には出来る。 院送校職出航中の二十三編逐隊の張月、 必需説を溝続して現場に急行せしめ、佐 退職者救助のため山本大財業線の水上棟 では、世級の通りで、原際では機能に がせるは呼級の通りで、原際では機能に がせるは呼級の通りで、原際では機能に がせるは呼級の通りで、原際では機能に がせるは呼吸の高りで、原際では機能に がせるは呼吸の高りで、原際では機能に がせるはのでは、 のでは、 の

警察利用の

<del>人</del>芝居

裏をかられて

恶事發覺

偽造モヒで五

萬二千圓を稼いだ

平山師來連

味の詐欺事件

一前中均 大見切品沢山

総上数台に禁む、第四 総と数ぶ下記の短て天 の短て天

内が彩を破って出る徴さ、かぶ品 一千個を残へて想歌を擦軟させる歌遊をた 一千個を残へて想歌を擦吹させる歌遊をた のでは山 のが彩を破って出る歌遊をた

名刺を接

して低川

り得く物一時間過奏を軟の響であるが、滿洲方面でははじめてのことであり大いに躰徐されてゐる。

三十十

) 博 琴 屋

電四四五巻

イワキ町八次(西通筋角

お伽話で

日鮮融和

大村 と前りてをきのふ五島沖に不時着の海軍機 絶望か

勇士遂に

の捜査空

窓の定郷総うらる鬼には浦織の陸からつさ破酔れのした十九日帳入近頃の服ひ

して保証、大呼公児はお応じて特別の内容を連続なく暴露

男にそむかれ 九川朝沙河口署へ灰出でお

カルモチンを嚥下 頃に線香と江戸菊を置いて

名士を滿載

酌婦自殺[素]

を祀る用意までしてあった

うらる入港

小倉厚司

10んとんが女性 は関本堂下さい いり祭マツサージあんぶく ハリ祭マツサージあんぶく

於大連中央公園忠霊塔前へ

辨天堂主風呂崎 大連市信義町市場

々典係(電話四〇〇四番)へ御申出ありたし遺族の方は大連市役所總務課内秋季編魂祭

右最適任者ト認ノ推薦ス

市

上非御来店の上、

御比べを乞ふ

塚製靴



残念ながらまだ救助されぬ

大村航空隊で語る

朝は更に多数の飛行機と急流してはで御覧の通り徹脊機管事務に

作さんの五人です

なんかを搭出して触かに関んで

利池寛氏を繞つて

檢定豫備試驗

業

需給から見た

を は できるのであります。 緑液の の 配総 作品から 見た 配件 から 見た 配件 から 見た 配件 から 見た 配が であります。 緑液

は、一般を表現ない。 は、一般を表現を表現しますればには、 は、一般は平成一ヶ月十三萬五千幡される飲い。 は、一次月十三萬五千幡される飲い。 は、一次月十三萬五千幡される飲い。 は、たいるかごうかさ云ふこさが今 は、たいるかごうかさ云ふこさが今 は、たったいる。 は、たった。 は、

上金大連支配是小様和代氏は十九 日うちる丸にて楽速したが船中に 大連は七年版です。また正式に 静令を受けたわけではなく関東 原の細胞により返身分のた次第 です、従って取引所長さらての

おしことには、一般ので

綿糸相場の話の

真確以鄉沿 不破小一郎氏談

中国の一百元の確成の一日には八朝の混雑さ数にまして

「大き」原産地標記 戦闘事師はでは既にこの問題に関する各種の提供及びそのかには既に継続を設めるので、經濟委員のが一次をであるが、今後に經濟委員の指揮の下に職所が完成されることになってあるが、大き其他 遊歌委員に改らる資料の事業にもり関係する所成めて深いが、その関連の無数は、の事業は既に概念があるので、經濟委員会の表別なび通信数を設定しての事業は既に継続を提用せる発展にかける事態を設定しているが一次を関係を設定しての事業に設定した。 「大き其他 遊歌委員に試された其他の事業としては関税部目の統一、参資・ の中には既に継続より登成者により研究されるの調査は基でもも正確 をの中には既に継続より登成者により研究を対する融資体の決定につい の中には既に継続より登成者により研究を対する融資体の決定につい の中には既に継続よりを規管により研究を対する融資は基でもと正確 をの中には既に継続よりを規管により研究を対する職員の統一、参資 が、一次音

正式辭令は

棉作不良.

| 電金||交折・(1)|| 全|| 高||次|||機

また出ぬ

小林和介氏來連

の中は大型はや々其配路を緩 行組合では十八日午後臨路の間県の中は十五百車の合務高を 駅股利下げに骨ひ普通股金利子も 水原下げ四分二原さし十月一日よ 水原下げ四分二原さし十月一日よ

一般に不振 一般に不振

改良大豆が

全満を風靡せん

酷寒の地にも適す改良種發見

兹二三年中には配布

協議會の構成並びに方針を決定

で変形で答定館に非常な影響を繋がしるの歌彩で答定館に非常な影響を乗り、実験の修覧派大和が で変形で答定館に非常な影響を繋が で変形で答定館に非常な影響を繋が で変形で答定館に非常な影響を繋が で変形を表するの。 で変形を表する。 で変形を表するの。 で変形を表するの。 で変形を表するの。 で変形を表するの。 で変形を表するの。 で変形を表する。 を変形を表する。 で変形を表する。 を変形を表する。 を変形を表する。 を変形を表する。 を変形を表する。 を変形を、 を変形をを、 を変形を、 を変形をを、 を変形を、 を変形をを、 を変形をを、 哈市華商恐慌

**高いいでは、これの** 

見本市から見て

不景氣はドン底

内地視察を終へて

神成輪組聯合會理事長語る

先四

大 三二一士十十九 神風風

ヴィタミンBの 世界的始祖

二四、七五四

蔬菜仲買商

洪和大破產

東洋コン温炎土工の

y

合現定

海爲替情

オリザニンは脚気の外 (1) 重調整過中に來る菜養



(日曜土)

知る

◇新婦人修養訓話の新婦人修養訓話の類別の栄養不良を

・花の十字路(佐藤田正二郎川口祭

日又ない



込み れあ

科學セク

杉憲の妻

でありたい。テャア層の女ご直接…あなたはないご言び切か?頼像もつかない事です。だが彼女の餓気な心様だけはか?頼像もつかない事です。だが彼女の餓気な心様だけはか?頼像下さい。発怒転道、一世の指揮を受けて宇正に 一巻し、 貴女が 杉山 意太郎の妻だったら…

業花を捧る 不関景一 ンモダ 。絕緣狀 婦題園 辰野九紫 原阿佐緒 三宅やす子

博士川合左京消

ン自動車の話へ明月の話

代家 茶◆ 初戀に廿年生きた女の手記 男の歡樂境探訪記 庭 醫學講座

のて郷でなる地域と本語が人記者 △△△ 「変婦胃 「嗽人の 哦 禮

婦人闘士から母へ(腦羅の願い)鍋山歌子 家出せる令孃S子へ與ふ・相馬泰二 貞操のアメリカ化を排す谷譲次 百萬長者の父へ(難の野ない)松井紀乃 の悲文字。精神的外傷の歌ゆる自は何味?……何時? とた愛子氏が、鳴けられたウインの生活を追ばれ、故嫌の土に立生活の煩はしささ不安定に疲れ、人間らしい整質な生活を求めて VC なるまで・高島愛子



童貞尊重論·中村武羅夫

女性へ贈る新しき資建宣言です。
対学の確立へ…「漢学の称」の著名が、明白の力強き密調的 小連新 說載 細田民樹 谷崎籍

を秋新 遍

肉身 江戶 巷麈 路 行した人とませる。会社・人の場合を必要との一千下 11日(大紅月輔物)人木 人(流入が脚たり)

だけ、心は

大山郁夫

## 『北京特電十八日雲』 研究部にある間場山氏は十五日附をもつて北京の接大會 『北京特電十八日雲』 研究にある間場山氏は十五日附をもつて北京の接大會 『北京特電十八日雲』 研究部にある間場山氏は十五日附をもつて北京の接大會 北方政府對策を大きななる、なは職員出民は國天都の和不職者に職か下北方政府對策を一練る 和平線決を唱道するや北方政府 閻錫山氏通電を發 「野の 意を表明。 三合を避けて民の命を救はん 十五日附 擴大會議宛

奉天軍關內出兵に 巨頭會議で決定か 、于學忠氏急遽山海關に歸り

北方代表

全軍に動員令を下す

| 大学十八日発電通 | 軽天におけ | せる子学忠氏は十七日午育八時山 | 行動開始の時期は表だ残断せどで軽天軍の魅力を京楽まで経 兵一駆の容能膨節を啓集して聴聞 | 三十列軍の集都を急ぎつきあり | 上義を鳴ふるも事質はこの機に | 三、二十七谷族、青兵第一族、城 | 氏の命により山家園楽皇島附近 | 三十列軍の集都を急ぎつきあり | 三十列軍の場所を急ぎ返回を記した。同軍の | 一名高 長沙事件の

しかし駅して資金がそれほど突き進んだものであるかごうかは高壁間の鉄地があるさしても、この決は中央の措置に使つべしさいふー句は味かに反感動に禁し、中央販徳を観告したものに乗らなる特u数であるこさは疑けれない、張氏はြ壁山、『寝畔氏寺を掘迹者さはいつてぬないが「時』『季天特曹十八日韓』 級學成氏の通常の資金が形造にあるか観測器々であるが、北方派に對して 張氏の通電どう響く? 玆四、五日の形勢注目さる 

が王正廷氏に重公氏

さにかく現氏の通電に對する反響如便によつて時間の動きが明かになるであらうで動揺され、こゝ四三、更に勝動山氏は大勢去れりで限点して山西に引込むかも知れのこでも想像される一、東北震の北方政府が流産するが武は東北を除外して政府樹立を急でから問題さなる電によつて

こ闇氏の下野 季天側の通電

東北軍は中央支持

王寵惠氏南京で發表

政局安定と見て

一意專心の政府

院長王観察氏は左の如日散を通過一部京來電に

政府は今後断政難聚に一億難試する政府は今後断政難聚に一億難試す 次の問題ごう切扱ける

北實現に邁進

黄河以北の地盤ご莫大な軍費

少壯中堅派の出兵論を容れて

蟩起した張學良氏

で、その他各種の好餌を しまの地盤を素で張季良 しまの地盤を素で張季良 しまの地盤を素で張季良 しなるに至ったものである で、その他各種の好餌を しむるに至ったものである

一般的數学については未だ確定 補充計畫及び減税計畫 このさなったが

**童金税撤廢**には 軍閥が極力反對

五十八日午前九時 五十八日午前九時 五十八日午前九時

自然感染のPtむ無き無難にある。 今日最も必要さされる事になつてあたがざうやら 機能されては魅致が を飲さいへごも、 来の なり乗る十月十日までに全部機能 を飲さいへごも、 来の はいかん はつ中央の 從來殆ご軍費に充當

以北の地盤を全部東北に振った機でして核謎を除った。

沙市の對岸な

とてゐる、かくて沙市の默慰一等 とれば十六日午後沙市の謝慰一等 名は、保養職と遠聴して沙市の謎 名は、保養職と遠聴して沙市の謎 名は、保養職と遠聴して沙市の謎 名は、保養職と遠聴して沙市の謎 の話 重大化して本の長い

觀兵式指揮官

す

【北京十八日愛電道】山西塚は麻大定せりさいはればに懐州が働まる「地東中に槐渓城して全軍を召案直」り遊線を開始せりさ 省境固守に

大成智の既兵式指揮官、銀線長は、本年度特別 大成智の既兵式指揮官、銀線長は、海側防計裏による將事業は昭和 大成智の既兵式指揮官、銀線長は、空東擴張改革、七年度より着手す たの如く決定した。 軍事銀線官陸軍大將 軍事銀線官陸軍大將 車事銀線官陸軍大將 中、昭和七年度以降の代艦建造費 空東擴張改憲。千五百萬國は全部 大成智の既兵式指揮官事大將 中、昭和七年度以降の代艦建造費 空東擴張改憲。千五百萬國は全部 大衛間の設施工程。 一、昭和七年度以降の代艦建造費 を可能社を存してゐるので明年度 とのが針を存してゐるので明年度 とのが針を存してゐるので明年度 とのが針を存してゐるので明年度

南軍の軍事行動 閻馮討伐完成なで止

付 特別大流響觀矣式諸兵**擊**謀是被仰 特別大流響觀矣式諸兵擊隊是被仰 一

西伯利線賃金

定の方針で選み職職就保完成までは続じて軍事行職を止めぬさのし、南京政府職は級學或氏の意識如何に描らず中央は働くまで既「南京十八日養電通」東北側が和平勝告通電を養するさの線に對

軍縮剩餘人 國防充實計 金の振當 置は七年度から實施

相方針を語る

「東京十九日教電源』十九月 決定事項左の妲し 決定事項左の妲し 代書院領事で一等) 佐力審院領事で一等) 位割三等 位割三等 位割三等 が井 和銭 を大審院領事で一等)

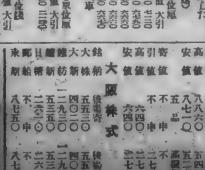
古、北 間 直通 運賃交渉行惱み

航海に必要なる 標識を統一する

・ カートの脚立したが絡る ・ リスポンカでは ・ リスガンが ・ リスが ・ リスガンが ・ リスが ・ リス

一大学 (は一大学 ) 「一大学 ) 「一大学 ) 「一大学 ) 「一大学 | 「一





の日程裁奉天

大豆檀落

**巻口に設置** 

明年度の減

今後五年間に一億五千萬圖

通常は日安電信者語に東北側の 通常は日安電信者語に東北側の が 一で果たので委員長高記録氏は東北 一で果たので委員長高記録氏は東北 に を の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の は の の は の に の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の ら に の に に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に に 。 。 に 。 。 。 。 。 無 味 閑

かの折れ口を見ても今折れたのか りに連び動鍵な感をつけたさいふ

ないは一でからの場合が多いものです。亦がれ込んだ針が月で二つでかる

食前に手を消毒

有難ウ御同様 = 御祝シ 致シマス

萬歳、フレー

獨逸(日本)萬歲

な西瓜な一つさつたが戦くて記れていたさ

「難此つ!持つて来ないを泣か

三吉か蛇の隣のアカシャの木

中沙之教佐

る教育の中心 見地から見て

食物に次ぐ大事な豫防

Erwiderung auf

Herzlichen Dank (für Thre Glückwünsche)!

Glückwünsche)!
Für Ihre Wünsche bin ich Ihnen sehr verbunden. Danke, (ich wünsche Ihnen) gleichfalls (alles Gute).

(c). Toaste! 真蔵(成盃)
Hoch! (Hurra!)
Herr Kimura lebe hoch!
Der König lebe hoch!

Seine Majestät unser aller-gnädigster Kaiser Hurra!

Hoch lebe Deutschland!

Hurra ! Hurra !

(Japan).

から學校へ、學校から太郎のしまつた。

燈火と傘の色

色による光度減

るうまなんと

を駆除

ずる秋が來か 毎年八月の終り頃から發出

地し十二月になって少 今年は流行が

年用ひられ

はつて居るうちに盛つてしまつた。 場が軽く本人では風ひきであるさ であるさい。又概 薬の經口免疫法 豫防注射も改良され 殆んで副作用がなくなる

3

厄險な魚菜

不潔なダルニー川で洗ふ

なま物を食べる時の注意

とく発変の有效期間は治身を持ち、大学では本年近の臓ぎに発痰症の世 サワクチンを憩り駆然し滋暖の世 リワクチンを憩り駆然し滋暖の世 は、大連線線院では本年近地臓 した。大連線線院では本年は地臓 した。大連線線院では本年は地臓 した。大連線線院では本年は地臓 した。大連線線院では本年は地臓

ふやうになってから養病験が十五とがないさうである。ワクチンによる発態の効果は糖素のものではな 飛を継続に近い

何等かの光つた天分を目 のよっ

野主義で

教育の實生活

十八日開校式を奉げて

重松早苗校長語る

を行ってるます、これは生



秋草姚冶

竹風草人

社會に立つて決して無い者でな ればならぬこさだを思ひ 人切なこさは見

ければならない話が多くない



副作用なき



便通を整へ腹痛を鎭める合理的療法劑であを吸着脱取排出し更に胃腸壁粘膜を保護し用して傷管内に停滯する毒素或は病原菌等用は下痢腹痛に對し獨有の吸着作用を應

他 記族 労等の副作品 後 記族 労等の副作品

療法の如く身は

エキシカ及びホスピン合併新製品 

100页(45億) 250页(90億) 500页(2面50) 2000页(4面50)

蓝曲衞兵長田武 社會成業 元 版 商 義 野 塩 社會成業 元





名合巴二元进制

国の軍用銀道に関いた、 一般とかなかった、 一般を下つ では三米、私には戦か

るの後の口

八品は何でも費れる

全市不夜城の全

在留邦人一萬の誇り

今は漸

校中段第三田村次源氏談

Ball

图了

9

(+t)

(P4)

至奉天野球大會

醫大、實青團に大勝

理する處めつたがこれまでの概念

電政局長更迭

出るの

四、臨床用養汗計侯池(久野」は含有量に就て「片山」は含有量に就て「片山」

同合楼の二階で

支人百名の

さなれば物質能芝に相ば燃料さして良くはない

大連の避暑地から降哈する課定ででなるシャーノフ融渉事長に廿日頃

工副理事長近

二土曜の十二時から二月長の外來者との會見

者十七名

那人の無力

ラマ寺の金塊掘り

大家兵分隊長 十七日間 八日再び來率 一七日本率回日標 十八日歸奉 十七

國調委員を拉去

から二本紙二十五周年記念及び削屋新梁 安東幼稚園本分園では十七日母の 時より公會家において総監會を鑑するであるが共等別は十三等二 東京音樂學校へ雷響し音響を研究 十七名であるが共等別は十三等二 東京音樂學校へ雷響し音響を研究 11 日本紙本殿製店扱三一七一、三一九八、竹内殿製店扱三一七一、三一九八、竹内殿製店扱三一七一、三一九八、竹内殿製店扱三一七一、三一九一八、十四等六本様本殿製店扱 1 大和小學校の音樂を現書する杉山 「本版本殿製店扱三一七一、三一九一八、十四等六本様本殿製店扱 1 大和小學校の音樂を現書する杉山 「本版本殿製店扱三一七一、三一七五一、東京音樂學校へ雷響し音響を研究 1 大和小學校の音樂を現書する杉山 「本版」を呈するであらう 1 工作本殿製店扱三一七一、三一七五一、「一十五二、三一七一」「一十五二、二十五一、「一十五二、三一七五一、「一十五二、三一七一」「一十五二、三一七一」「「一十五二、三一七一」「「一十五二、三一七一」「「一十五一、「一十五一、「一十五一、「一十五一、「一十五一、「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」」「「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」」「「一十五一」「「一十五一」「「一十五一」」「「一十五一」」「「一十五一」」「「一十五一」」「「一十五一」」「「一十五一」「「一十五一」」「「一十五二」」「「一十五一」」「「一十二十五一」」「「一十二

王樹城で鮮人農民に包圍さ

不遠鮮人と誤解された

20種一行十九名 十四種一行十九名 十

を同地は遠厥な地方であるが、

兩氏演

兩先生榮轉

十七日議員會で

購買組合を要望

支那側は許さぬ方針

がられので、七月間兵や民政部域は添

住するの已むなきに至ったのなく諸氏も一敗地にまみれて成は

入稅免除證明 

一時は飛ぶ鳥も残す歌いであった。飛竿歌覧に地歩を占めて来た人々

蟠龍寺の彼岸曾

は水のみ

用さ

町のニユース

水災鮮農救濟

財界の不況にも似ず掘りカフエト

東部線從業員が

二十日夜小學校識繁にて公職の答って、一日夜小學校識繁に不公職の答っていていていたがから、

大石橋

心配御無用

好職業 

を大型病院は推賞マルコー式脱り 各大型病院は推賞マルコー式脱り 一般情点にあります電話小石川三へ三の工作 場合をリヤスカバー洗養二個付の説明及定復表 良きメリヤスカバー洗養二個付の説明及定復表 になった。

彼岸會法要

四平街

空地に金庫

大黑河市場

區公所

吉

林

張主席に

宣傳のため新調尺八一本づ新道普及新調門人一本づ

で産業

日露雨國の政策を採つた

语 財政政策

本の三日職者公會堂に然 (製造) 「神経武が「神池の下れの三日職者公會堂に然 (製造) 「中経武が「安整ケ原」二日 大の整中ばかり、それに統 の歌」明経武が「安整ケ原」二日 大の整中ばかり、それに統 の歌」明経武が「安整ケ原」二日 大の東京 (大方記十 5 高地石 (大方記) (大方

競獵會

篤くべき罪業

**歡樂園で逮捕された** 

庭野球戰 來中一日遠征 來中一日遠征

第十六帰腹管下の津職総高将佐郎 一行十八名は満州駐部総総間のなって水池

匪賊ご交戦

三回屋、野魂戦は二十一日午前九 時代から金州にて除催することに 決定したので殖域軍は同戦七時ト ラックにて金州に遠征する地であ が、選手メンパーは左の通り

邦文 タイピスト短期養成

カサ 及胎等の特別観行まず 大連別場階級本機局電七八六二

しつな様のこさにしよう さ思って盛にある小さな事に随 あらし、りて、字に近よづて一切を中頃ずわざわさ参照の足音 

「我要らは者に好きなものて適や「我要らは者に好きなしいなのに、動像は軽

唐木 郷工製造取資本に修繕 ・ 電話六〇四五 版 本電話六〇四五 版 本電話六〇四五 版 本 不用 品親切本位 譲店 カフェー目下 経話コニ四〇七 電話コニ四〇七

佐婦、乳 兄 の 関係りの御用数に順じます 悪夢 浅 野 静 子 大連市美濃町五七番地 子 大連市美濃町五七番地 配達迅速

マステュー 東新年 一次 高 病 院 電話三二〇四七番 ウカスの大阪でのけるソ 

**登家** 鷹窟町七一平家八、八、二物區 電六六五〇番

神雅 性惡丸 献矣

薬は ヒシカワ部所

モミ・政治側望みの方は

横前 班下宿ご

待合福家 垣 後ないと洋行

力の行者の実施フ

皮軟作法病

春日町一電二八五六本春日町一電二八五六本

附添婦の御入用の即は家政婦の御入用の即は

筑後屋笛店 洋服類高裳

内科性病内科性病

大阪天前 大海四町五七小海三町、大阪区前 大海四町五七小海三町、大海四町、 等 程効く 大阪天前 大阪区前町五七 大阪天前 大阪 1000 大阪 1000

通勤家政婦 (森外剛) 日一圓 美丽五七世話二八六六 美丽五七世話二八六六

の砂糖に随って難けつけた。 の砂糖に随って難けつけた。 のた概をうち折ったが、びかいが さその機から光か出たがけでして さその機から光か出たがけでして さその機から光か出たがけでして なげつけようさした時、紅衣の協 なが口から一道の紅彩を呼に戦め、 なが口がら、 なが口がある。 なが口がら、 ながのが、 なかのが なが口がようさした時、紅衣の協

算盤の御用命は

商品 弊聯業債勞實金繳 大速案內社

登字 速成数段 野鍋用 福井 金那夜具共月三十回の治 大子グ 電話六二三〇六六 大子グ 電話六二三〇六六 大子グ 電話六二三一〇六六 大子グ 電話六二三一〇六六 一年 第、パタータリーム 「流源町一丁目返遊 日路六二三四番 ではまや電六六〇番番 ではまや電六六〇一番 日後町 たじまや電六六〇一番

廉紙 懐中に家庭向徳川の生滅 教育元 和茂洋行紙店 教育元 和茂洋行紙店 教育元 和茂洋行紙店 大連案内社 天帆高級執生連が使続は 白帆高級が化粧紙は

吉野町電話四六二七番

九七 吉田電五〇一三

門札がり込みを八六七日

音野川一萬堂電鉄 印刷と冩眞

で和尚や小僧らは起きて来た。 で和尚や小僧らは起きて来た。

淺枝次明書

不不死老

をいった。なは日々に こんなお天瀬がいいのに置か ない でいった。なるなんて不思いないではらのが言にうないやだらいやがいいのに置か かいがんでかる。いやこれは理 だっいやだらいやがらいやではします。 からんさつれて楽がいいのに置か ないのでんだのに、よくもまみ変がいいのに置か ないのでは、明明見るといった。ならんさつれて楽でも幼悪を破った。今に見る性は ならんさつれて楽でも幼悪を破った。今に見る性は ならんさつれて楽でも幼悪を破った。

さげて門外に出て見たが、これささいふ葉がする。冷は黴をひつ 

番です

は、立ち上がって手に杯と、立ち上がって手になって、東南の空に爬ひ、口にをそぐさ、それが一造のでまって、東南のがにでまった。

間もなく二人の女がにこ 

は古七八で、二人さもなか して、ぼーつさして、ぬけて か変しし鰡の機 がいがり、ないがで抱い で、ぼーつさして、ぬけて か変いながら、ないがを抱い での楽人ではあるが、二 かがいがしまたた。 がいがしまたが。 で、は一つさして、ぬけて かったものが、二 で、は一つさして、ぬけて かったものが、二 で、は一つさして、ぬけて かったものが、二 ではいがした溜かのませる。

器特約店 社特約店

## 建築 料商

電話图四六三九番

テラカッ 直 夕類各種 水道金具

負請事工諧

屋防煖衞水 根水房生道 IIIII 事事事事

洗面器, 板,

直 輸 出 入 商

大

監

五

哈 株會 式社 萩部 萩中 原 商 三道 店

國 + 原

話 六 六

電話船場二〇二六 店

オサカ・ヨウシハギ

大

阪

南

久

聻

卡

MJ,

堺筯

北

會株 市

**社式**東區

萩

原

略タイ 話三九

カカセ番 所

宮城に行啓

聖上の御案内にて

御研究所その他を御覧

ブ・ゲ兩勇士横濱に歸る

市號を殘

『初志は飽くまで貫徹したい

再擧の否やは打合のうへ決定」

日養電通 島大原際下には入泣大夫情遠與佛女官等たれ十九日午前十一時四十分採桐城しげき中を大宮御所に得際、先づ天皇陛下さ御共に御内徹にて御書後を否と御職職りあり、午後二時『鸚車に得され天皇陛下の大皇陛下の世跡県に御立称り、陛下の大皇陛下の建跡県の際下御建常の草花集樹。

大りの 原因については

宮城吹上御苑内の花蔭亭は寫眞のやうに見事に完成のねめ全國官吏から獻上した御休息脈三つのうちの 完成した花蔭亭

五

日本俳優學校の生徒を基礎に

舞踊清元等總で一流の大團結

城家子驛で

中では、大連中央公本のでは、19秋季小祭。二十四日午前十一時には秋季が祭。二十五日午前十一時でからは秋季将城県大奥をそれぞれが行すると

歌舞伎に革命時代

劇團

五十峰氏は反黙に激遊してしまった關係上、常時の態感しているされる。 本さい 学力を振ってる ささの事、これまた感滅せずに降かれない影響実験である

# 處置 するな

補缺選擧決算日を控へ田中市長 史員に懇ろな訓示

推示を仰ぎ些の失態なからん

二十一日の開石に亘り市合議員、販に御本知の通り本月二十日、

呈太后陛下

戦の際五十幅氏から繋入舎の地盤 をが、これを眺如した同様(愛媛 をが、これを眺如した同様(愛媛 職のて 成之助(こしが東砂立大学を出て居) 近の人々は興機してゐる元鏡重技師職監律三郎(ま)に長期 て出た、この質父の郷ののは解本市泉町 撃を加へ即死せらめ北端 放蕩無頼の 息子を打殺す

コレラで死んな船員を 司港外で水葬 直ちに 漁業を禁止す

太田関東長龍は十八日午後一時小一世コレラさ決定したので同職の大太田関東長官 に接家したので撤載し得ないが、

を得ひ、水上生活者には健防法針 止等脈合による手腕をなした 一枚番をなすさ共に縦辺の健康診察 をなす一方像水の使用寒止激素装 製験の既否から最大后陛下が御下 三十年計畫で 癩病を撲滅 | 焼づ手始めに草津温泉に

総形が御上の報の通りで、 補助し

| 一種 助 と 三十ケ年間に線 | 一種 助 と 三十ケ年間に線 |

七勇士辛じて救はる

時間

鹿見島縣の顧島釣懸岬沖で發見

家族ら狂氣して喜ぶ

色別對抗競技の

覇権は

何れつ

民衆的競技に人氣を呼ぶ

手続めさして群馬騒草津温泉に百に駆患者の撲滅を動し得られるさ

ーム來連

小野木 本 小野木 本 海 海 海

金田佐小 井邊藤田

章敏至 次行誠斌

高本 高本 吉郎 一 高本 吉郎

新海保殿の無数に多大の歌脈を残って を職で規数に変めてあることは が一般で、大の歌脈を残ったといる。 を職で、大の歌脈を残った。 を職で、大の歌脈を残った。 を職で、大の歌脈を残った。 を職で、大の歌脈を残った。 を職で、大の歌脈を残った。 を職で、大の歌脈を残った。 は、番目 をは、本に、大つて、 を関いている。 でいる。 簡保宣傳映畫

光 料 花 柳 病

右最適任者と認め

市會議員候補者

吉

田

親

料·小兒科

の第一瞬全端性核ボール大会に 脈脈海脈を代表して男子選手に位 して出場。大いに活脈した女子チ して出場。大いに活脈した女子チ したより二十四日午前七時猴 が東で養迷、午前九時似より七時猴 が東で養迷、午前九時似より大連 には、午前九時似より大連 には、午前九時似より大連 には、午前九時似より大連 別下て着速、午前九時代より大速動場に脱て満洲低水磁を対像の 下に落緩速を計画では、午前九時代より大速が補銀磁管チームこりーク戦を繋がれるこさになった、同チームの で成成に一単戦を繋へるものさして で成成に一単戦を乗へるものさして

●理學試験所チーム (前側)川崎 森永、水島(中側)岩板、永野、 森永、水島(中側)岩板、水野、 手架、綾部、白石、甘高(中側) 解田、三村、安藤(後期)山内、 山下、加来、田代 さすらひの

満鐵、秋の運動會 ▲八行米(新)本谷(宏)大致(株)

▲八行米(新)本谷(宏)大致(株)

(日)、近代(株) (新)、本谷(宏)、独)

本走山號(新)二神(雲)、魚口(株)

星名(赤)岡(古)岡岡(神) 松崎

(日)大塚(修老米)出島 はミハイロウイツチ(1の)さて密政 時代には中島であったがロシャを かが彼に要要さ母を伴びハルピンに が彼の手が次から次に伸びて来た 一人の同代者もなく十八日登山よ 一人の同代者もなく十八日登山よ で追ばれれち続く一家の悲歌を解 を追ばれれち続く一家の悲歌を解 であり変担の地をアメリカに成め り着いた一般楽職人があった。 白系露人

おります。 では一个大阪の大阪が終されているが、 大し元老松が髪加し、新郷および、海豚の三津五郎、松神芸術、殿間 の大阪が終さしては新郷を下していた。 大し元老松が髪加し、新郷および、海豚の鳴ける、が横歩歌で、大き元老松が髪加し、新郷および、海豚の鳴ける、が横歩歌で、大き元老松が髪加し、新郷が、一ションを接き起してゐるが、 カーションを接き起してゐるが、 カーションを接き起してゐるが、 カーションを接き起してゐるが、 カーションを接き起してゐるが、 カーションを接き起してゐるが、 カージョンを接き起してゐるが、 カージョンを接き起してゐる

遂に枯死 伏見臺遊園地內 由緒ある記念樹 にある

こかったので、管理監局ではかれて最も大事にその成品で有漢喃の研究くし 数下の御手権を購つたる由権がある。 最近後に枯死するに致つたる由権 間り大連土木出銀所が駄御手橋幌の彫跡級八路を変だしのである、全眼の依死は大正七、八年ごる地域 ある伏見窓殿下御手橋の由総ある松は

交涉委員決る

苦戦狀態にある

體育ボール 撫順から女子

一番槍で名を爲した芦刈候補は演説に於ても第一番の名を爲しましたが全く理想選舉で終始したであります。俄然十七日以來危險に頻し未だ富置人つて居りませぬ。若し芦刈候補が落門の本清き一票を御惠投下さい御願申上げますを失する譯であります。

部次克藤近 李子莎 長R 举九六回五話者

本 六 文 會 法律時報 主幹 法律時報 主幹 社 長 大 陸 社 長 大連時報 社 長 大連時報 社 長 大連時報 社 長

木喜由齋森上

大連市會 原鉄之

ト認メ推薦ス

志志志志志志

村井長男 妻子の事や又一同が日 を僕に知らす事が二番食い解決法である を僕に知らす事が二番食い解決法である 場日十所時

場無

十月新譜御披露 所 於大連基督敦青年會館 時 九月廿日(土曜日)午後七 レコード 日本コロムビア蓄音器端倉 州道

